

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第6区分
【発行日】平成16年12月16日(2004.12.16)

【公開番号】特開2003-205929(P2003-205929A)
【公開日】平成15年7月22日(2003.7.22)
【出願番号】特願2002-4310(P2002-4310)
【国際特許分類第7版】

B 6 5 D 5/10

【F I】

B 6 5 D 5/10 D

【手続補正書】
【提出日】平成16年1月14日(2004.1.14)

【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0025
【補正方法】変更
【補正の内容】

【0025】

ここで、上記アンカーコート層104の上に、15 μ m厚の低密度ポリエチレンフィルム105を介して前記保護フィルム106をラミネートにより一体に積層してもよい(図7(b)参照)。上記低密度ポリエチレンフィルム105に代えて高密度のものを用いてもよい。

これにより、表側ライナ102の表面には保護フィルム層106が形成され、この保護フィルム層106は包装箱の形成時に外表面となるので、包装箱の表面同士が擦れたりぶつかったりしても傷がつかず、印刷層103を保護することができるので、美粧性を有することができる。